

# 県道佐野行田線（大手町工区）電線共同溝事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

電線を地中化して  
電柱を撤去します

地元の声

- ・狭い歩道の中に電柱があるため、通りづらい(地元住民)
- ・佐野市と館林市、行田市等を結ぶ幹線道路であるため災害時も通れるようにしてほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 館林市大手町
- 事業内容: 電線共同溝 延長1,200m
- 事業期間: 令和5年度～
- 現在の交通量: 16,408台/日(自動車) (R3年度) 16人/12時間(歩行者) 36台/12時間(自転車)

事業前

- ◆電柱が歩行者の通行を阻害し、歩きにくい状況です。
- ◆災害時に電柱が倒壊し、道路を寸断するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆道路上の電柱が無くなり、歩行者や自転車の安全な通行空間が確保されます。
- ◆災害時の安全な通行が確保されます。



事業後のイメージ

| 成果を示す項目     | 実施前 |
|-------------|-----|
| 歩行空間を阻害する電柱 | あり  |
| 電柱倒壊のおそれ    | あり  |

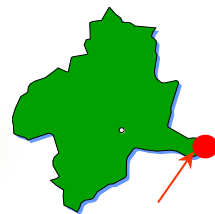
| 実施後(目標) |
|---------|
| なし      |
| なし      |

事業のすすみ具合

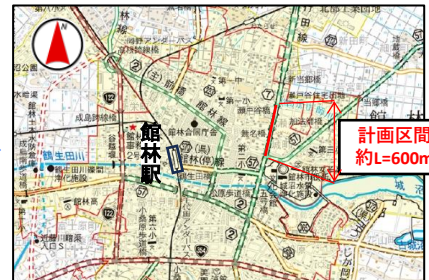
事業開始



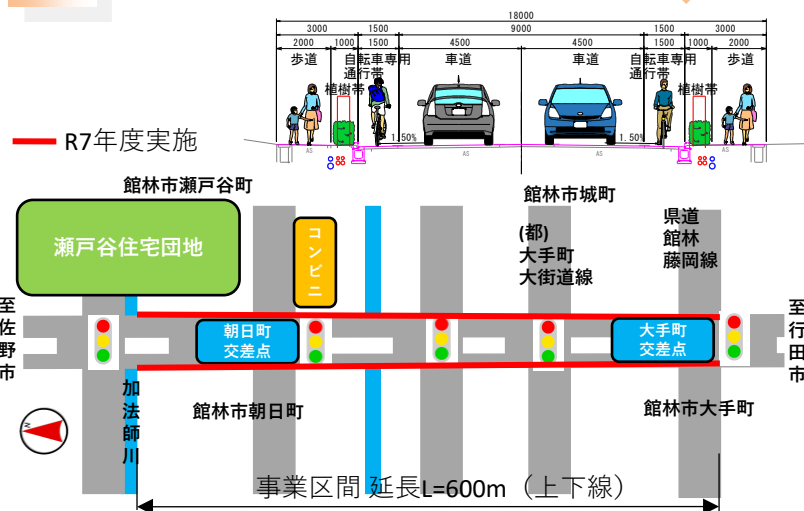
事業完了



事業位置  
館林市



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は電線共同溝工事の設計をしています。  
令和7年度は、埋設支障物の移設を行います。

